

Plagiolepis pygmaea

(Latreille, 1798)

ピンの頭ほどの大きさで日向を好むアリで、女王アリが多数いる巣のネットワークで暮らし、ごく小さなすき間もすり抜けます。



写真：Philipp Hoenle (myrmecophil), CC0 1.0

ひと目でわかる情報



巣の温度

21–28 °C

巣の中



巣の湿度

50–60 %

巣の中



休眠

10–15 °C

11月–2月



結婚飛行

6月–8月



働きアリ

1.3–2 mm

どれも同じ大きさ



女王

3–4.5 mm

女王は複数



コロニーの規模

働きアリ5,000匹規模

成長速度：普通

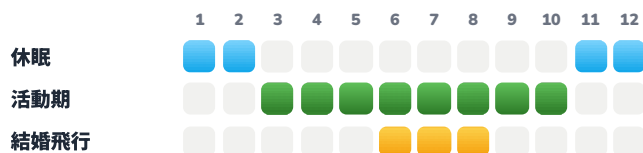


脱走リスク

高い

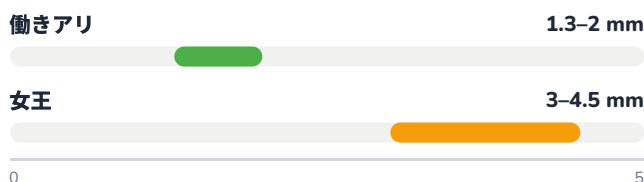
脱走の名人です。密閉したアウトワールドと、しっかりした脱走防止の対策を用意しましょう

1年をひと目で



月は温帯ヨーロッパと地中海地域の目安です。正確な日は天気で決まるため、お住まいの地域では飛行が早まったり遅れたりすることがあります。

同じ縮尺での大きさ



飼育の早見表

食べ物

砂糖

昆虫

おすすめの巣

- Ytongの巣
- サンドイッチ型の巣
- 試験管セットアップ

この評価の理由

- ✓ 完全閉鎖型：最初の働きアリが現れるまで、女王に餌は不要です
- ⚠ 本格的な脱走の名人で、脱走を完全に防げるセットアップが必要です

飼育者からのメモ

ヒント

糖分は、結晶化したはちみつを薄く塗るか、アルミホイルのごく小さな切れ端にのせて与えましょう。綿は軽く湿らせる程度にとどめてください。1滴の水滴やびしょびしょの栓で、働きアリが何匹も一度に捕まったり溺れたりします。

注意

最初の働きアリが羽化する前に脱走防止の対策を計画し、すべての継ぎ目に注意してください。働きアリは、試験管と栓や連結チューブとの細いすき間に集まります。イタリアの飼育者は、冬の休息のあとプラスチックが再び膨らんで押しつぶされたり、栓を開けたときに誤って殺してしまったりして、そこで多くを失いました。